

DEAD OR ALIVE 3

人間関係相関図

霧幻天神流忍術

雷道

過去の過去

親子

菖蒲

夫婦

紫電

天神門

あやね



流派
霧幻天神流忍術天神門

あやねのかつての師であり、育ての親でもあった霧幻天神流霧神門の長、幻羅の足跡が途絶えた。いまや霧神門最強の忍となった彼女は、その幻羅がDOATECの超人開発計画、選称オメガ計画によって傀儡(くづつ)と化したことを知る。父にも等しい幻羅の成り果てた姿を目の当たりにしたあやねは、己が手で彼を葬らねばならない運命を悟る。

殺意

養父姉妹

かつての師匠

かすみ



流派
霧幻天神流忍術天神門

兄ハヤテの仇をつつために、霧幻天神流頭首の座を捨てて抜け忍となつたノ。前回大会で、行方不明になっていた兄との再会を果たしたが、掟を破った抜け忍が忍の里に戻ると兄と一緒に暮らすことは許されず、追っ手から命を狙われる日々が続いている。ある日、DOAにハヤテが参加することを知ったかすみは、せめてもう一度だけ兄に会いたいと願い、大会に出場する。

兄妹

ハヤテ



流派
霧幻天神流忍術天神門

かすみの兄で、霧幻天神流第18代頭首。DOATECの超人開発計画(イブシロン計画)の実験体とされ、過去の記憶を失っていたが、前回大会後に記憶を取り戻し、改めて頭首に就任した。今回は、DOATECのオメガ計画によって傀儡(くづつ)と化した幻羅を倒すために、再びDOAに参戦する。

エレナ



流派
髑髏拳

DOATECの総帥フェイム・ダグラスの養女として生まれたエレナ。創始者ダグラスの血を引いたただ一人の人間として、大組織DOATECを揺さぶる権謀の渦に巻き込まれる。DOATECの反ダグラス派によって監禁された彼女は、そこでドノヴァンから、真実を知りたければDOAで優勝してみせろ、と誓われる。

養女

監禁

雇う

クリステイ



流派
蛇拳

アザンとして完全な素質を持ち、究極の適応を遂げた冷血無比な女。総拳を極め、頭脳戦として敵を使う。DOATEC反ダグラス派の権力者、ドノヴァンに雇われているクリステイは、エレナの監視役として彼と共にDOAに出場する。

ブラッド・ウォン



流派
酔八仙拳

酔拳の師匠、陳老師は言った。「幻の酒を持ってこい。その名は『幻羅』という。』幻羅とは……それは聞かれないような言葉だった。ブラッド・ウォンは『幻羅』を求めて旅に出た。求めるままに流れて三年、とある格闘大会にたどり着く。

レオン



流派
コマンド必殺拳

死線を共にした恋人ローランの想いは、今もレオンを振り立てる。今度こそ、必ず勝つてみせろ。レオンは砂漠に眠る女に驚う。

ゲン・フー



流派
心身必殺拳

難問に目された高級メイリン。その手前にはさらに莫大な費用が必要だった。頭領の命を救うためゲン・フーは三たび立ち上がる。

DOATEC

テッドオアライブ
公式主催団体

対立

幻羅

総帥 フェイム・ダグラス

ビクトル・ドノヴァン博士

ヒトミ



流派
空手

ドイツ人空手家の父と日本人の母を持つ少女。父の厳しい指導のもと、幼い頃から空手を学んでいたヒトミは、かねてからDOAに出場して自分の力を試みたいと熱望していた。今まで反対していた父もヒトミの力を認め、DOAに出場することを許した。

バイマン



流派
コマンドサブ拳

超人強者のプロと呼ばれる戦士。元依頼主ドノヴァンの裏切りに報復するため、大会に参戦する。

ジャン・リー



流派
ジューダー

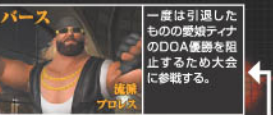
理由なき闘争者。強者の強さを求める闘いは、決して終わらない。

憧れ(恋?)



天才の名を欲しいままにする。若き大権勢の達人、ジャン・リーを目標とし、彼に勝つために大会に参戦する。

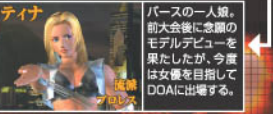
パース



流派
プロレス

一度は引退したものの戦域ティオのDOA優勝を阻止するため大会に参戦する。

ティナ

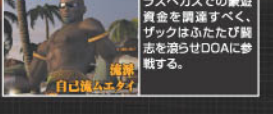


流派
プロレス

パースの一人娘。前大会後に念願のモデルデビューを果たしたが、今度は女優を目指してDOAに出場する。

LOVE

ザック



流派
自己編みオキテ

かねてからの念願、ラスベガスでの裏道資金を調達すべく、ザックはふたたび闘志を燃やしてDOAに参戦する。

「DEAD OR ALIVE 3」では新キャラクター3人が追加され、合計16人のキャラクターが登場する。流派が違う個性的なキャラクターが複雑に絡み合っているのが「DEAD OR ALIVE 3」の面白さでもある。ここで登場キャラクターの人間関係をチェックして、発売まで待っていて欲しい。そしてこの闘いの結末は……。

親友ライバル

親子